



「脚下照顧」



『ウイルスとジョン・レノンと芥川龍之介の関係』

皆さん、寒くなってまいりましたが、体調はいかがでしょう？今年インフルエンザが大流行するかもしれないとの事なので、くれぐれも万全の体制で連休工事に臨んでいただきたいと思います。

しかしあのウイルスというのは何なんでしょうね？『今年は何々型が流行の兆し』とかいって、まるでファッションのモードのように手を変え品を変え毎年やってくるあのスタイルは！

そしてワクチンもすぐに耐性が出来てしまい効かなくなってしまうあたり、規格がすぐに変更になって使えなくなり、新しい部品を一式で買わざる得なくなる工業用部品に似ていて、まさに商売上手といった感があります。

もっと言うなら道路の中央分離帯に生えまくっている雑草対策として、防草シートが一面に張られていても、そのわずかの隙間を何とかかいくぐって生えてくる雑草の生命力といった感じでしょうか？

もっともと言わせてもらえば、天下り対策をいくら施しても、また新しい見事に！巧妙な抜け道を編み出して、楽チンな老後を味わいたいと考える高級官僚の執念といった感じです。

多分、宇宙のレベルから眺めると、ウイルスも雑草も高級官僚も同じ生命体と分類されるのかもしれませんが。

もうそろそろクリスマスの季節ですが、クリスマスソングで私が1番好きな曲はジョン・レノンとオノ・ヨーコの**Happy Xmas (War Is Over)**です。『世界中のあなたが一斉にいちにのさん！で望めば戦争は終わる』という強力な平和的メッセージをクリスマスソングに乗せて歌っているのですが、まさに真理を突いた表現だと思います。

しかしながらこの子供でも納得できる単純な理屈が何千年と人間世界では通らないわけで、いつまでたっても世界のどこかで戦争が行われているわけです。何でなんですかね？

実は私はこの原因はスーパーマーケットの牛乳パックにあると睨んでいます。スーパーの牛乳売り場で、宇宙から眺めるつもりでじっと人間観察をしていると、多くの人が我先にと製造年月日の新しいものから買っていきます。私はこの事実で戦争が決してなくなる原因が潜んでいると思うのです。

牛乳パックを商品棚に発見したとたん、人々の意識は牛乳パックと自分との関係だけに入り込んでしまい、もし仮に自分がこの製造年月日の新しい牛乳パックを買ったと、他の人が古い牛乳パックを買う破目になることを忘れてしまいます。これを『スーパーに於けるカンダタの蜘蛛の糸系ウイルス』と呼び、戦争がなくなる最も大きな要因として注目しております。(近く学会で発表予定(笑))

そんなことを熱心に研究している自分なのですが、実は私もこのウイルスのようなものに感染しているという驚愕の事実が最近判ったのです。本屋さんで立ち読みしていて、気に入った雑誌があったので買ってこようと思いついて山積みになっていた雑誌の中から、だれにも立ち読みされていない、表紙がシワシワになってない雑誌を下から3番目から抜き出したのです。それをたまたま宇宙から眺めていたもう一人の自分が見ていて、連絡をくれたのでした。完全に『書店に於けるカンダタの蜘蛛の糸系ウイルス』にやられていたのです。

名医に相談に行ったところ、『人はみな何らかのウイルスに感染しているから安心なさい』といわれ、『凡事徹底』という強力なワクチンを打ってもらい、ひとまず沈静化しました。そして、『まだ自分がかかっているウイルスを発見できるだけいい』とも言われました。

世の中には自分がウイルスに感染しているとも知らずにそこらじゅうに撒き散らしている人や、自分のウイルスを発見することをしないで人のウイルスばかり責め立てる人がたくさんいて、世の中を荒ませているそうです。

連休工事もまじめに一生懸命汗水たらして働いて、家に帰ったら『コタツみかん』して、大晦日は紅白みて平和な年の暮れを迎えたいものです。

感謝!! 羽原篤史

